

大野川水系立小野川洪水浸水想定区域図(計画規模)

位置図



索引図



1 説明文

- (1) この図は、大野川水系立小野川の洪水予報区間について、水防法の規定に基づき計画降雨により浸水が想定される区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
 - (2) この洪水浸水想定区域図は、公表時点の立小野川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、大野川水系の洪水防御に関する計画の基本となる年超過確率1／100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1／100（1％））の降雨に伴う洪水により、立小野川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 - (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水が想定される区域以外の区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- ※注）国管理区間以外については、溢水・越水のみを考慮しています。

2 基本事項等

- (1) 作成主体 国土交通省九州地方整備局大分河川国道事務所
 - (2) 公表年月日 平成29年3月29日
 - (3) 告示番号 国土交通省九州地方整備局告示第79号
 - (4) 根拠法令 水防法（昭和24年法律第193号）第14条第2項
 - (5) 対象となる洪水予報河川
 - ・大野川水系立小野川（実施区間）
- 左右岸：大分県大分市大字下判田字屋敷敷3942番の8地先の国道橋から判田川への合流点まで
- (6) 算出の前提となる降雨 大野川流域の2日間総雨量485mm
 - (7) 関係市町村 大分市

凡例

- 浸水した場合に想定される水深（ランク別）
- 0.5m未満の区域
 - 0.5m～3.0m未満の区域
 - 3.0m～5.0m未満の区域
 - 5.0m～10.0m未満の区域
 - 10.0m～20.0m未満の区域
 - 20.0m以上の区域
 - 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川

「国土地理院の電子地形図25000『戸次本町』『鶴崎』を掲載

1:10,000(A1)